

### 第3期青葉小学校区きずな計画書

No.	基本目標	基本計画 推進項目	重点項目	区分（対象）	実施事業及び活動 （具体的な内容）	地域（校区）の現状と課題 （重点項目の理由）	協力機関	年次計画				
								H28	H29	H30	H31	H32
1	①きずなを育て確 める	1-2 きずな活動の推進	校区活動	きずな推進委員	●校区きずな推進委員会の運営 （年2回の開催を基本とし、都度必要に応じて随時開催する。）	・誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくりの効果的な推進を図り、よりきめ細かなきずな活動を実践するため、校区きずな推進委員会を定期開催する。 ・校区きずな推進委員としての取り組み状況を確認し合うとともに、5か年計画に基づき1つずつ解決していくためにできることから校区に必要な取り組みを実践していく。	地区連／町内会／民生委員・児童委員／関係機関	実施	⇒	⇒	⇒	⇒
				地域全般	●住民座談会の開催 （年1回開催／校区きずな推進委員会にてその年度に応じたテーマ設定を協議する。）	・青葉小学校区としての課題や解決策を検討する場として、年1回住民座談会を開催する。 ・青葉小学校区は、自衛隊観別駐屯地を中心にドーナツ型に分布しており、小学校区全域の情報や課題を共有する場が必要となる。		実施	⇒	⇒	⇒	⇒
3	②きずなを護り強 める	5-7 小地域ネットワーク活動の推進	日頃からの見守り・訪問・声かけの推進	高齢者 障がい者 等	●小地域ネットワーク活動の充実 （校区内全町内会の実施を目標に、地区連・単位町内会への働きかけを行う。）	・きずな安心キットの普及を念頭に置きつつ、日頃の見守り・声かけを継続・推進していく。 ・日頃からの挨拶や声かけを大事にし、見守る側（町内会福祉部、民生委員・児童委員、班長等）の連携を充実させる必要がある。	地区連／町内会／民生委員・児童委員／関係機関	実施	⇒	⇒	⇒	⇒
4	③きずなを護り強 める	6-8 社会参加の促進	居場所・相談・つながり づくりの推進	高齢者 障がい者 子ども 等	●ふれあいいきいきサロンの推進 （高齢者の居場所としての機能も維持しつつ、相談場所や世代間交流の場としても推進する。）	・現状として、高齢者のみを対象としたサロンが多く運営されているが、そこに日常生活の相談ができ専門機関につなげる機能や、世代間交流の機能も備えることで、より広域的な活動に展開できる。	地区連／町内会／民生委員・児童委員／関係機関	実施	⇒	⇒	⇒	⇒
				高齢者 障がい者 等	●ふれあい会食会の推進 （地域で見守りが必要な高齢者等を孤立させることなく、地域住民とふれあい、交流する機会を設けることを目的に実施する。）	・年1回の行事であるが、毎年楽しみにしているとの声が多数挙がっていることから継続して実施していく。 ・高齢者を中心とした地域住民の交流の場として推進していく。	地区連／町内会／民生委員・児童委員／関係機関	実施	⇒	⇒	⇒	⇒
6	④きずなを結び深 め広げる	14-24 関係機関とのネット ワーク	子育て及び高齢者福祉 対策の推進	高齢者 子ども 等	●安心安全パトロールの推進 （校区内全てを網羅するパトロール体制の構築を目標に、地区連・単位町内会をはじめとする、関係機関への働きかけを行う。）	・青葉小学校区では、児童の登下校時の見回りパトロールを実施している町内会があり、その取り組みは防犯にも直結する取り組みである。 ・登下校時のみならず、地域で暮らす方々が安心して生活を送れるよう、防犯の視点を取り入れた中で、関係機関と連携し、校区内全てを網羅するパトロール体制の構築を目指す。	地区連／町内会／民生委員・児童委員／関係機関	検討	実施	⇒	⇒	⇒
				地域全般	●防災避難訓練の実施 （校区内全ての町内会において、年1回以上、防災避難訓練が実施されるよう、地区連・単位町内会と連携・協力して推進する。）	・青葉地区津波避難計画を基本とし、避難訓練を実施していく必要がある。また、海や山に面している青葉小学校区は、地域により想定される災害も異なるため、それぞれの地区の実情に合わせた、多様な避難訓練についても実施検討を行う必要がある。 ・青葉地区自主防災連絡協議会をはじめ、地区連や単位町内会と連携・協力し、校区内全ての町内会において防災避難訓練が実施されるよう推進する。	地区連／町内会／民生委員・児童委員／関係機関	検討	実施	⇒	⇒	⇒
7	⑤きずなを護り強 める	8-12 防災活動の推進	防犯・防災対策で安心 安全な生活環境づくり	地域全般	●防災避難訓練の実施 （校区内全ての町内会において、年1回以上、防災避難訓練が実施されるよう、地区連・単位町内会と連携・協力して推進する。）	・青葉地区津波避難計画を基本とし、避難訓練を実施していく必要がある。また、海や山に面している青葉小学校区は、地域により想定される災害も異なるため、それぞれの地区の実情に合わせた、多様な避難訓練についても実施検討を行う必要がある。 ・青葉地区自主防災連絡協議会をはじめ、地区連や単位町内会と連携・協力し、校区内全ての町内会において防災避難訓練が実施されるよう推進する。	地区連／町内会／民生委員・児童委員／関係機関	検討	実施	⇒	⇒	⇒